

希釈冷凍方式超高真空極低温 強磁場中走査型トンネル顕微鏡システム USM1600

超低温、強磁場STMのハイエンドモデル 40mK以下 (目標30mK) での連続冷却

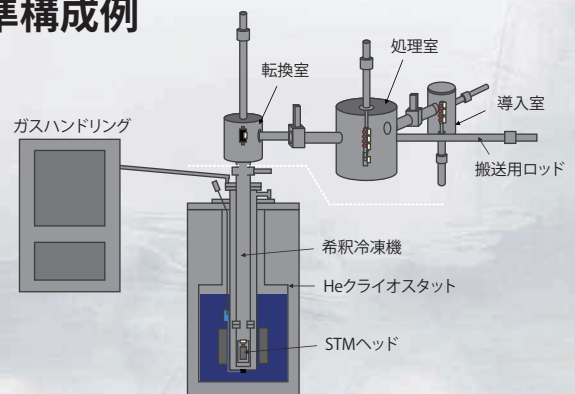
市販品で最も低い到達温度と強磁場を実現し、表面科学研究の最前線で活躍する高性能STMで、研究目的に合わせて必要な試料前処理システムを構築することが可能です。超伝導や低温物理研究の最前線に必須の研究設備です。



用途

- 超低温下の超電導現象、電子エネルギー構造の観測
- 原子・分子の高分解能観測
- IETSによる分子振動の観測
- 強磁場中STSによるスピン応答の観測
- 高周波導入によるスピン共鳴計測への応用
- 高分解能磁気構造の観測、スピン偏極STM

USM1600 標準構成例



SPMヘッド	
最大スキャン範囲 (XxYxZ)	2×2×0.25 μm (低温時は1/4)
分解能	原子分解能
到達温度	40mK以下 (30mK)
磁場強度	最大11T、15T、9-2-2T Vector
真空度	
観測室・処理室	3.0×10 ⁻⁶ Pa、導入室:1.3×10 ⁻⁵ Pa
STMコントローラ	
Nanonis™ コントロールシステム	

株式会社 ユニソク 

E-mail: info@unisoku.co.jp Web site: <http://www.unisoku.co.jp/>

本社・研究所 〒573-0131 大阪府枚方市春日野 2-4-3 TEL 072(858)6456 FAX 072(859)5655

20180608